

# 令和4年度 事業報告書 決算報告書



長南真由美氏（新庄市出身）と蜷尾はるか氏を講師に迎えバスケットボールクリニック



キッズサッカーフェスティバル

一般財団法人新庄市スポーツ協会

# 目 次

(P)

名称変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

## 1. スポーツ振興事業

### 《1-1》スポーツ普及推進事業

(1) 新庄市総合体育大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1  
(2) こども・はばたき事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2  
(3) 自主事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3  
(4) 賛助会員（スポーツサポーター）制度・・・・・・・・・・・・・・ 4  
(5) 広報事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4  
(6) かむてんスポーツクラブへの協力・統合協議・・・・・・・・・・ 5

### 《1-2》育成強化、競技力向上事業

(1) 育成強化事業費交付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5  
(2) 育成強化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6  
(3) スポーツ少年団育成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6  
(4) 体育表彰事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

### 《1-3》サイクルスポーツセンター管理事業・・・・・・・・・・・・・・ 9

### 《1-4》最上地区スポーツ協会連絡協議会との共同事業・・・・・・・・ 9

## 2. 施設管理事業

### 《2-1》新庄市スポーツ施設指定管理事業・・・・・・・・・・・・・・ 9

### 《2-2》山形県最上中央公園指定管理事業・・・・・・・・・・・・・・ 10

### 《2-3》新庄市都市公園管理事業・・・・・・・・・・・・・・ 12

### 《2-4》新庄市公有財産管理事業・・・・・・・・・・・・・・ 13

## 3. 法人管理事業

法人管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

### 参考資料

○令和4年度役員体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

# 一般財団法人新庄市スポーツ協会

## 令和4年度事業報告書

### 〔名称変更〕

一般財団法人新庄市体育協会は、令和4年7月1日に「一般財団法人新庄市スポーツ協会」に名称を変更した。

変更理由) より身近で親しまれる名称とし、県及び近隣スポーツ団体の名称と整合を図る。

## 1. スポーツ振興事業

### (1) 新庄市総合体育大会

新庄市の委託を受け、新庄市総合体育大会実行委員会を組織し、第44回新庄市総合体育大会を開催した。

開催は、スポーツ協会から実行委員会に委託費全額を交付し、競技団体とスポーツ協会が8月から2月までに14競技の開催を計画したが、1競技種目で開催中止（前年度3種目中止）となった。

参加者の状況は、選手1418人（前年度869名：549人増）、審判役員306人（前年度210人：96人増）、参加者総数1,724人（1,079人：645人増）となりコロナ前の平成30年度総数1,881人に比べ157人減少したが、参加総数は大きく回復した。

競技種目	開催期日	会 場	参加選手数
バレーボール	R4. 8. 21 R4. 9. 3	新庄市体育館 新庄中学校	164人
サッカー (フットサル)	R4.12. 4 R5. 2. 11 R5. 2. 18~19	すばーていあ 新庄市体育館	229人
野球	R4. 8. 20	新庄市民球場	52人
柔道	R4.12. 11	新庄市武道館	55人
ソフトボール	R4. 8. 20	福田運動広場	68人
弓道	R4.10. 9	新庄市武道館弓道場	41人
剣道	R4.10. 10	日新小学校体育館	52人
空手道	R4.10. 9	山屋セミナーハウス	50人
バドミントン	R4.10. 9	新庄市体育館	192人
ソフトテニス	R4.10. 8~9 R4.12. 4	新庄市テニスコート 新庄市体育館	186人
合気道	R4.12. 10	新庄市武道館	30人
卓球	R4.11. 13	新庄市体育館	139人
バスケットボール	R5. 2. 5	萩野学園体育館	160人
スキー	コロナ感染防止のため中止。		

選手1,418人

◇要した経費 新庄市総合体育大会実行委員会負担金 915千円

#### 《成果と課題》

- ・新型コロナの影響による活動制約が緩和され、13競技種目で開催できた。また、新型コロナの感染者を出すことなく、令和3年度参加者総数を大きく上回り、幅広い年代の参加者が競い合う機会を提供できた。
- ・バレーボール、サッカー（フットサル）、ソフトテニスの参加選手数が大きく伸び、また昨年度に開催を中止した2競技が開催できてコロナ前の参加者数の水準に戻りつつある。

## (2) こども・はばたき事業

### ■ 幼児期からのACPの推進

子供の体力低下や運動離れは全国的に大きな課題となっている中、新庄市スポーツ協会は、子どもの時期によく遊び、よく運動していろいろな体の動かし方を身につけ、汗をかくことの爽快感を感じ取ることが、生涯を通じて運動を取り入れた健康的な生活に繋がると考え、アクティブ・チャイルド・プラン＝ACPに取り組んでいます。

職員の講師養成のため、「JSPO—ACP講師講習会」に1名をオンライン研修で受講させ、講習会の実技の指導助手として職員を派遣した。

### ■ はばたきクラブ

日頃運動する機会の少ない子供（スポーツ少年団未加入等）を対象に、平成29年度から日新小学校に「日新はばたきクラブ」を立ち上げ、また、令和3年度からは、新庄小学校に「新庄はばたきクラブ」を立ち上げて活動した。

各クラブの活動は、「走る・飛ぶ・投げる」を中心にした遊びで、2週に1回、1回90分程度、思い切り体を動かす楽しさを感じてもらう事を主眼にした。児童は、毎回夢中になって遊び、運動し、次を楽しみにしており、コロナ対策から様々な活動制限があり、体を動かす機会が普段より減っているこの時期に運動の機会を提供できた。また、新庄市並びに市スポーツ指導員・外部指導員の方から協力を頂き、活動を支えていただいた。

[活動概要]

- ① クラブ会員数 日新はばたきクラブ10名  
新庄はばたきクラブ 9名 合計19名
- ② 入会費 2,000円 : 月会費 300円 会費額 77,000円
- ③ 活動日程 通常活動：6月～2月：日新（水曜日）16回  
新庄（火曜日）18回 計34回  
親子行事：日新10月 8日（土）・2月25日（土）  
新庄10月22日（土）・3月 4日（土） 計4回
- ④ 指導 清水涼雅氏（市スポーツ指導員）、石山立晟氏（市地域おこし協力隊員）、加藤直人氏（日新白鳩バレー）、栗田伸一氏（SMAC）、菅一生氏（金山町健康ふれあいクラブ）

### 《成果と課題》

コロナ禍の中、感染対策を徹底して期間中トラブルなく進められた。

参加児童から活動日を心待ちにしているとの声を多く聞くことができ、また、父兄にも親子行事を通じて運動の場を提供できた。また、指導面ではACPの訓練を積んだ職員の他、外部指導員の協力体制をとることができ、更なる活動の充実に展望を持つことができた。

研修派遣等で講師育成に取り組み、外部指導者の体制を充実して事業の拡充に努力した。

◇要した経費 はばたき事業 158千円（受取会費合計 77千円）

## (3) 自主事業の実施

### ① 杣蔵登山体験ツアー（新規）

日時：参加者 令和4年10月16日実施 参加者27名  
スタッフ：山岳ガイド1名（日本山岳ガイド協会認定ガイド）  
ガイド補佐2名、協会職員3名 合計6名

成果等 有資格山岳ガイドを依頼し、安全確保に努めて実施した。多くの参加がありトレーニングへのニーズの高さを感じる事業となった。ガイドの適切な指示のもとで全員安全に下山でき、好天に恵まれて好評を得た事業となった。



## ② ステップアップ体操（新規）

目的 軽運動を通じて日常動作の維持改善や元気の向上を図る。  
内容 令和4年6月～3月の間、月2回・1回1時間半程度で、インストラクターを迎え、音楽リズムに合わせて11cm高のステップ台の昇降運動を行う。

・水曜日を定期レッスン日として17回実施：市体育館

参加料 一回200円 インストラクター：健康運動指導士 沓澤保代氏

参加者 40代～70代を中心に、延べ138人参加（一回平均約8人）

成果等 参加者は、インストラクターの効果の説明を受けながら、リズムに合わせて運動していた。継続を強く要望されるなど好評であった。



## ③ エアバレーGAMEin新庄

目的 働きざかり、子育て世代を中心に、思いっきり体を動かす機会を提供し、仲間とともに体を動かす楽しさ、爽快感を感じて、心身の健康増進を目的に実施した。

内容 ビニールボールを使用したバレーボール形式のゲームを実施。ハロウィンの仮装参加を促し、「楽しむ」運動を第一に時間短縮を図って実施した。

期日場所 令和4年10月30日（日）：市体育館

参加者 11チーム（1減）・91人（19人減）



成果等 コロナ禍の中で参加団体数、参加人数が前年度を下回る結果となったが、市スポーツ推進員の協力を得てスムーズな大会運営ができた。年々参加チーム、参加者数が減少しており、30代、40代の参加しやすい日程、大会運営に努力しなければならない。

## ④ サッカーフェスティバル

目的 新庄地区サッカー協会キッズ委員会と協働し、幼児を対象にサッカーを通じて体を動かす機会を提供し、その楽しさを伝え、心身の健康増進を目的に実施した。

内容 ミニコートで5分間のミニゲームを実施。

期日場所 令和4年10月21日（金）：新庄市スポーツ公園

参加者 はぐくみ保育園、にこにこ東園、なかよし保育園、鮭川保育園から57名

成果等 終始笑顔で元気にフィールドを駆け回り、サッカーの魅力に触れてもらった。また、父兄の見学者も多くあり、親子ともども楽しめる事業となった。

⑤ 健康ウォーキング 健康の維持増進を目的に、ウォーキングが習慣となるよう「ウォーキング日誌」を体育施設や他の市施設に配置し、取組んだ市民が自ら設定した目標歩数、年間20万歩から300万歩の目標達成者11名に認定証を交付した。

・完歩達成者（認定者）

(H29)16人 (H30)13人 (R元)14人 (R2)11人 (R3)10人 (R4)11人

## ⑥ あべじゅ〜体操

50歳以上を対象に、「あべじゅ〜体操」として介護予防を目的に考案された「いきいき百歳体操」と「かみかみ百歳体操」を4月から通年、毎週月・木曜日に、令和4年度は新たに「チェアピクス」を取り入れて実施した。

実施回数86回（R3：92回）・参加者数 延べ913人（851人）

一回平均参加人数人10.6人（9.25人）（）内は前年度実績

内容 いきいき百歳体操40分：かみかみ百歳体操40分  
体力測定2回（6/16：11/17）



成果等 参加総数が増え、集まってする体操を楽しみにしていると好評であり、体力測定で体力を確認しながら体を動かす機会を提供でき、ニーズが高い。

⑦ スポーツフォトコンテスト

目的 コロナ禍でスポーツの活動が制限される中で、スポーツの魅力、体を動かす喜びを捉えた写真展を開催し、スポーツに対する意欲の維持向上に貢献する。

内容 新庄写真連盟の協力のもと、6月下旬から1か月間、最上郡内におけるスポーツ活動（競技・レクリエーション等）に関する写真を公募し、会長賞、新庄写真連盟会長賞等の7点の受賞作品を決定し、応募作品を新庄市体育館、新庄市民プラザ、ゆめりあに展示した。



応募数・所感 応募者数30名、応募点数55点あり、一瞬の体の動きが捉えた作品など様々な年代から応募があった。より多くの人に鑑賞してもらえようさらに工夫する必要がある。

⑧ マジカルスノーランド

目的 市民スキー場の施設紹介、冬季の遊び場の提供

内容 小学生低学年以下を対象に雪遊び7種を実施

期日場所 令和5年2月26日（日）：新庄市民スキー場

参加者 約150人

成果等 多くの親子連れでにぎわうイベントで好評を得られた。

スキー場を会場に「外遊び」で思いっきり体を動かす機会を提供できた。



※ 実施できなかった事業・イベント

青空ヨガ（講師との日程調整が不調となった。）

◇市民スポーツ事業に要した経費 399千円

（４） 賛助会員(スポーツサポーター)制度

令和4年度は、令和元年度以来の会員募集を行い、59の団体・個人から223口・223,000円の会費収入があった。会費は、ACP・はばたきクラブ事業、広報紙の作成経費等に充当した。収支決算は以下のとおりです。

収 入		支 出		
受取会費	223,000円	広報事業	印刷製本費(8月号/10月号)	173,470円
繰越金	153,920円	ACP事業費	はばたきクラブ費等(受取会費を差し引いた経費の全額)	81,362円
収入合計	376,920円	支出合計		254,832円

収入 376,920円—支出 254,832円=122,088円・・・令和5年度に繰り越す。

（５） 広報活動

協会広報誌「SPORTS SHINJO」は5回発行した。わかりやすく、簡便な記事にして、興味を持ってもらえることを目標に発行した。「伝わる情報」の発信を基本に、表彰受賞者や競技スポーツ・軽スポーツに取り組む多くの市民を紹介した。

《成果と課題》

「伝わる情報」の発信を基本に取り組んだが、より多くの市民に見てもらえる、身近でいきいきとした情報の提供になお一層工夫する必要がある。

	発行年月	記事内容	
No.37	6月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ施設紹介</li> <li>・スポーツフォトコンテスト募集</li> <li>・体育表彰者（追加）紹介</li> <li>・新庄市体育協会年間行事予定</li> <li>・市民プールオープン日のお知らせ</li> </ul>	
No.38	8月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（一財）新庄市スポーツ協会への名称変更</li> <li>・インターハイ出場者紹介（25名）、決意表明（2名）</li> <li>・第44回新庄市総合体育大会日程・お知らせ</li> <li>・イベント開催（登山・エアバレー・ステップ体操）</li> <li>・市民プール営業日、料金案内</li> <li>・賛助会員募集</li> </ul>	
No.39	10月25日 (フルカラー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツフォト入賞作品紹介</li> <li>・栃木国体出場選手紹介</li> <li>・特集：体育施設管理（市体育館編）</li> <li>・「バスケットボール」新ゴール（更新）の紹介</li> <li>・賛助会員加入者紹介：協会の事業紹介</li> </ul>	
No.40	12月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットボールクリニック講師紹介</li> <li>・市民スキー場営業PR・料金表</li> <li>・施設紹介</li> <li>・スポーツ協会事業イベントの報告</li> </ul>	
No.41	3月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庄市・スポーツ協会体育表彰式</li> <li>・受賞者紹介</li> <li>・健康ウォーキング参加者のひと言紹介</li> <li>・協会からのお知らせ</li> </ul>	

◇ 広報事業に要した経費 639千円

## （6） かむてんスポーツクラブへの協力・統合協議

市民球場事務室の一部を同クラブ事務スペースとして使用することに協力した。

また、令和4年第3回理事会で同クラブとの統合に関して、市のクラブへの支援を条件に、統合協議を会長一任としたが、令和5年度は市の支援は見込めず今後の市の対応注視していかなければならない。

## 《1-2》育成強化、競技力向上に関する事業

### （1）育成強化事業費交付

令和4年度は、競技団体9・学校体育団体2、計11団体（1団体増）に対し育成強化事業費を交付した。コロナ感染対策を取りながらほぼ計画通り実施できた。

競技種目名	交付決定額	返還額	交付確定額	強化事業実施の状況（報告より）
空手道	150,000	28,418	121,582	講習会／強化育成練習会（事業一部中止による返還）
剣道	150,000	0	150,000	強化育成練習会／審判講習会
弓道	150,000	0	150,000	強化育成練習会／指導者講習会
柔道	150,000	0	150,000	強化育成練習会／審判・指導者講習会
サッカー	150,000	0	150,000	普及・指導者養成／強化育成練習会
スキー	150,000	0	150,000	ポールレッスン／ジュニアレッスン

自転車	150,000	0	150,000	強化育成練習会
バドミントン	150,000	0	150,000	強化育成練習会
ソフトテニス	150,000	0	150,000	講習会／強化育成練習会
小体連	110,000	0	110,000	陸上競技記録会／指導者講習会
中体連	140,000	54,000	86,000	強化育成練習会（空手・バドミントン・サッカー／事業の一部中止による返還）
計	1,600,000	82,418	1,517,582	

◇競技団体育成強化事業費交付に要した経費 1,521千円

## （２）強化事業

### ①ミニバスケットボールクリニック

目的 バスケットボールリングの更新を記念に、ミニバスケットボールの競技力向上を目的に、実業団の元選手（新庄市出身の長南真由美氏と蛭尾はるか氏）を講師に迎え開催した。

内容 最北地区バスケットボール協会との協働により、ドリブル、シュートなど実技とミニゲームを通じて、スキルアップを図った。

期日場所 令和4年11月5日（土）：新庄市体育館 参加者 32名

成果等 バスケットボールでは本市出身の元実業団選手を講師に迎えて行う初めての事業で、緊張感のあるクリニックのスタートとなったが、巧みな指導で徐々に親近感を感じ、参加者も意欲的、積極的にプレーを学べた。

### ②出前講習

目的 手軽にトレーニング技術を習得できるように部活等に指導者を派遣した。

実施内容 ライン（ゴム状の帯）を使って音楽に合わせたトレーニング

実施回数 4回（新庄北高サッカー部）

指導者 一般社団法人スポーツリズムトレーニング協会認定普及員

成果等 一校で4回の実施にとどまり、PR不足を認めない。

事業の再検討、PRの検討が必要である。



※当初計画した地区スポーツ協議会との共同事業2件（北都銀行バドミントン教室・RUNRUN）は、コロナ感染又は指導者の日程調整ができず中止となった。

育成強化事業費に要した経費 1,658千円（競技団体育成強化事業費1,521千円を含む）

### 《成果と課題》

- ・計画した11団体に強化事業費を交付した他、交付先はほぼ計画通りに実施できた。また、実績のある外部講師を迎えた強化育成に取り組み、モチベーションアップ、スキルアップに役立てられた。一方で、少子化による競技人口の減少などの課題があげられる。

## （３）スポーツ少年団育成事業

### 〈会議〉

#### ① 本部員会の開催

第1回本部員会 書面決議 令和3年度事業報告、事業計画

第2回本部員会 令和5年度事業計画、役員改選、J S P O公認コーチングアシスタント移行  
令和4年度事業報告（体育表彰・各事業・登録状況等）

#### ② 正副本部長会議（運営員会合同会議）

第1回 令和4. 4. 13（スポーツ少年団結団式・スポゴミ）

第2回 令和4. 12. 14（指導者・育成母集団研修会・役員改選）

第3回 令和5. 3. 15（令和5年度事業計画・結団式・スタートコーチ養成講習会）



◇令和4年度登録状況

		R元	R2	R3	R4	
単位団		34団	32団	32団	31団 (▲ 1)	
団員	小学生	男	320	292	300	308 (+ 8)
		女	186	167	184	177 (▲ 7)
		計	506	459	484	485 (+ 1)
	中学生	男	35	42	60	35 (▲ 25)
		女	35	44	48	44 (▲ 4)
		計	70	86	108	79 (▲ 29)
	高校生	男	0	1	1	0 (▲ 1)
		女	1	1	1	1 (± 0)
		計	1	2	2	1 (▲ 1)
	計		577	547	595 (幼児+1)	565 (▲ 30)
指導者	指導者(有資格者)	158	126	115	104 (▲ 11)	
	役員	31	15	12	11 (▲ 1)	
	スタッフ		38	38	46 (+ 8)	
	計	189	179	165	161 (▲ 4)	

令和4年度競技種目別登録団

1. バスケットボール (6団・150人)

- ①萩野ミックスビッキーズミニバスケットボール
- ②日新ミニバスケットボール
- ③八向
- ④新庄ミニバスケットボール
- ⑤萩野MBS
- ⑥明倫バスケットボール

2. 軟式野球 (4団・72人)

- ①日新レッドスターズ
- ②新庄ビクトリーパワーズ
- ③萩野フルスイングス
- ④明倫グリーンベレーズ

3. ソフトテニス (2団・28人)

- ①新庄ソフトテニス
- ②新庄ジュニアソフトテニス

4. 柔道 (4団・34人)

- ①日新柔道
- ②新庄地区柔剣道錬成会
- ③丹野道場
- ④神室柔道

5. 陸上 (1団・32人)

- ①SMAC

6. バドミントン (5団・92人)

- ①沼田バドミントン
- ②日新バドミントン
- ③新庄バドミントン
- ④奥羽ジュニアバドミントンクラブ
- ⑤MBC

7. サッカー (3団・75人)

- ①泉田サッカー
- ②日新サッカー
- ③新庄グランツSC

8. バレーボール (2団・13人)

- ①日新白鳩バレーボール
- ②MBSバレーボール

9. 剣道 (2団・32人)

- ①新庄地区柔剣道錬成会 (柔道と複合)
- ②東山錬成会

10. 空手道 (2団・30人)

- ①新庄市空手道
- ②萩野空手道

11. ソフトボール (1団・7人)

- ①リトルスラッガーズMSCソフトボール

## 〈行事〉

- ① 新庄市スポーツ少年団結団式及び地域貢献活動「スポGOMI in 新庄」
  - ・新庄市スポーツ少年団結団式は感染拡大により集合形式は取りやめ、4月21日（火）から5月10日（火）まで、体協HPで各団抱負を18団・303人が動画で公開した。
  - ・スポGOMI in 新庄スポゴミも動画による参加方式で実施。期間4月21日～5月10日・参加者数33チーム159人
- ② スポーツ少年団育成助成金 31団体に1団につき2,000円の育成助成金を交付した。
- ③ 山形県少年少女スポーツ交流大会：新型コロナ感染対策により中止
- ④ 山形県スポーツ少年大会・Jrリーダーズスクール  
スポーツ大会中止・Jrリーダーズスクール8月10日～11日（宿泊なしで実施）
- ⑤ 指導者・育成母集団研修会  
11月12日酒田公益研修センター開催（新庄市から正副本部長・事務局員）。  
日本スポーツ少年団顕彰：柏倉政男氏（新庄市スポーツ少年団本部長）
- ⑥ 新庄市スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会（対面形式で実施）  
会 場：新庄市民プラザ3階小ホール  
講 演：「こころとからだの発育に合わせた活動」  
講 師：井上聡子氏（さとこ女性クリニック院長：JSPO公認スポーツドクター）  
受講者数 女性30人 男性6人 計36人

◇要した経費 945千円

（内訳） 山形県本部登録料572千円／各団への活動助成金67千円／交流大会63千円  
県スポ少最上地区協議会負担金28千円／諸会議・交流会負担69千円・本部事務費146千円

《成果と課題》 令和4年度も新型コロナ感染防止対策により、事業のほとんどが中止又はリモート開催になった。結団式及びスポGOMI活動は各団より動画での配信とし、取りまとめた内容を「DVD」にして各団に配布した。新庄市スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会では独自に開催している研修会を開催し、専門的な研修機会を得て誤った常識を改めることができた参加者からの好評を得た。男性指導者にも深めていただきたい領域である。

団数はバレーボールで1団減少し、団員数は30名の減少となった。生徒児童数の減少が主な要因と思われるが、その中で団員数を増やす団があり、その取り組みを参考にしたい。また、認定員有資格者の更新期限が令和5年度までとなっており、更新手続きの推進、ならびに新たに指導者を目指す方へのPRを交え、指導者確保に努めていきたい。

## （4）体育表彰事業

表彰規程に基づき、新庄市と合同で次のとおり開催した。

〔日 時〕 令和5年2月4日（土）・午前10時

〔場 所〕 新庄市民プラザ大ホール

〔表 彰〕

スポーツ振興功労賞 1名：松澤信高（新庄地区陸上競技協会役員として長年指導育成）

特別表彰 1名：正野瑠菜（藤枝順心高：第31回全日本高校女子サッカー選手権大会1位）



殊 勲 賞 36名（一般・大学生5・高校生23・中学生8）

5団体（一般・大学生1・高校生1・中学生3）

飛 翔 賞 21名（高校5・中学生1・小学生15）

◇要した経費 228千円（内報償費176千円）



《成果と課題》 被表彰者の対象がコロナ前の水準に達していないが、表彰式を2年ぶりに開催し、父兄の前で選手を顕彰することができた。顕彰することが少しでも競技者の励みに繋がれば有意義である。

### 《1-3》新庄サイクルスポーツセンター管理事業

令和4年度は、環境維持の作業としてフェンスの蔦除去、草刈を行った。また、3.11東日本大震災で生じたバンクの亀裂の状況確認を行い、昨年と変わらない状況を確認した。

### 《1-4》最上地区スポーツ協会連絡協議会との共同事業

- 北都銀行バドミントン教室を計画したが、チームの練習・競技日程との調整がつかず中止。
- RunRunRun 小学生のコロナ感染対策のため開催を中止。

## 2. 施設管理事業

### 《2-1》新庄市スポーツ施設指定管理事業

1. 新庄市の指定管理者として、次の11のスポーツ施設を下記のとおり管理運営した。

施設名	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
体育館	利用人数	34,673	25,383	28,778	29,549
	料金収入	1,718,780	1,062,020	1,139,460	1,109,130
市民球場	利用人数	28,769	19,086	26,428	30,779
	料金収入	2,483,110	1,280,850	1,172,920	1,289,590
武道館	利用人数	12,894	9,476	10,657	11,336
	料金収入	1,171,660	659,435	697,245	803,880
陸上競技場	利用人数	15,553	9,464	14,997	14,426
	料金収入	517,785	207,935	253,725	224,975
東山テニスコート	利用人数	16,279	10,858	14,873	14,965
	料金収入	2,116,400	766,510	1,068,930	1,091,720
福田テニスコート	利用人数	469	34	64	53
	料金収入	11,800	4,900	5,200	5,800
福田運動広場	利用人数	3,212	1,674	1,983	2,065
	料金収入	284,870	55,790	33,360	32,100
横根山運動広場	利用人数	82	235	529	179
	料金収入	4,250	0	3,000	1,500
市民プール	利用人数	4,343	0	2,839	1,715
	料金収入	565,580	0	148,320	99,200
市民スキー場	利用人数	1,334	9,868	11,543	10,936
	料金収入	317,500	3,879,200	4,452,150	3,959,750
北辰屋内運動場	利用人数				3,551
	料金収入				45,000
総計	利用人数	115,838	86,078	112,691	119,554
	料金収入	9,191,735	7,916,640	8,974,310	8,662,645

#### (利用増減)

新型コロナウイルス感染対策により4月に小学生以下の施設の利用制限があったが、その後には制限はなく、ほぼ利用申請のとおり開催された。利用者数は前年度を上回ったがコロナ感染拡大前の平成30年度の水準までに至っていない。利用料金は前年度を若干下回ったが、市民プールは従業員のコロナ感染により営業開始を1週間遅らせたこと、また、市民スキー場では降雨の影響やシーズン終盤に圧雪車の故障により営業日の延長ができなかったことが利用料に影響した。

○利用人数 令和3年度比6,863人、6.1%増加となった。令和3年度は第4四半期で市内のコロナ感染拡大があり利用の自粛がみられたが、令和4年度には見られず、北辰屋内運動場の管理を開始し3,551人の利用などもあり、利用者増となった。

その中で、市民プールと市民スキー場は令和3年度を下回ることとなった。その原因はプール従業員のコロナ感染によりオープンが遅れたことや市民スキー場の圧雪車の故障により営業期間の延長ができず、それぞれ令和3年度より営業期間が1週間短かったことによる。総利用者は平成30年度(コロナ前)124,005人に対し、3.6%、4,451人少ない結果となった。

○利用料金額 令和3年度比▲312千円、3.5%減少となった。市民球場、武道館で増加し、体育館、屋外施設は横ばいとなったが、スキー場の営業期間減少により▲492千円、11%減少となり、利用料金総額を減少させることとなった。

市体育施設指定管理の収支は以下のとおり。

収 入		支 出	
指定管理料収入	109,746千円	施設管理経費	114,630千円
利用料金収入	8,663千円	※減価償却費は除く。	
【収入合計】	118,409千円	収 支 差 引	3,779千円

## 2. 指定管理業務の主な業務

- ①施設の使用許可、取消し、その他使用に関する業務
- ②利用料金の徴収、還付、減免に関する業務
- ③使用者の利用調整に関する業務
- ④使用者の安全確保に関する業務
- ⑤施設使用案内、業務の周知等、施設の使用促進に関する業務
- ⑥施設使用に関する統計記録事務
- ⑦施設並びに設備及び備品の維持管理・運営に関する業務
- ⑧行為の許可、使用の禁止または制限に関する業務

## 3. 施設管理にあたっては、特に次の点を重視した。

- 新型コロナウイルス感染対策として市・県の通知、感染状況を踏まえて毎週職員連絡会議での周知徹底し、臨機応変に対応した。
- 各施設年2回の使用調整会議を行い、使用団体の事前希望をもとに案を示し、各施設の使用を円滑に調整するとともに、利用団体の声を聴取した。
- 多くの施設が経年劣化などのため修繕すべき箇所を抱えている状況にあり、定期的な点検を実施後市に報告し、必要な注意表示など利用者の安全確保に配慮した。
- 災害・事故発生時に的確に対応できるようマニュアルを作成し、日常業務におけるヒヤリ・ハット情報を職員間で共有し、事故防止に努めた。
- 施設利用者の要望・意見・苦情には、必要に応じて市の助言を得ながら誠実に対応した。
- 施設内はもちろん建物周辺の環境整備に努め、利用者が気持ちよく利用できるよう努めた。
- 来客や施設利用者には、正確で分かり易い説明、誠実、丁寧な対応を職員全員が心掛けた。

## 《2-2》山形県最上中央公園指定管理事業

1. 平成27年度から令和8年度までの8年間を山形県の指定管理者として最上中央公園（すばーていあ含む）を適切に管理した。特に、新型コロナ感染防止、遊具の安全確保に留意して、利用者の安全確保、利用者の利便増進に努めた。

◇すばーていあ利用状況・指定管理概要（利用人数は有料施設利用者のみ）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用人数	19,104	14,662	14,439	15,773
料金収入	2,963,075	2,691,430	2,574,912	3,020,060
指定管理料	22,528,000	21,845,000	21,115,000	21,115,000
その他の収入	614,055	407,405	489,909	582,543
収入合計	26,105,130	24,943,835	24,179,821	24,717,603
管理経費	23,456,163	26,481,185	25,068,061	26,308,041
収支差引残	2,648,967	▲1,537,350	▲888,240	▲1,590,438

利用人数) 令和4年度は、前年度比9.2%・1,334人増となった。例年利用が増える下半期、3年度はコロナ感染の拡大により伸びなかったのに対し、感染状況が安定化した4年度は利用が増えたことが利用増となった。

利用料金) 利用人数の状況とほぼ一致して、下半期に利用が増えたことから令和3年度を上回る料金収入となった。令和3年度比で17.3%、445千円の増収となった。これは、コロナ感染拡大前の平成30年度3,018千円と同じ水準まで回復している。

管理経費) 人件費（給与・法定福利含む。従事割合の按分無）607千円増、委託費412千円増により総経費は対前年度比802千円の増となった。電気料は若干前年度を下回り、委託費その他の経費は概ね前年度水準となった。

収 支) 1,590千円の支出超過となった。対前年度比で収入経費の両面で増となったが、人件費の増が大きく、前年度支出超過額を超える結果となった。期末手当支給月数を増加し支給額が増えたこと、法定福利費等が増えたことが主な原因である。

## 2. 自主事業

### ■スポGOMI in 新庄

コロナ感染防止のため、オンライン開催となった。  
〔日時〕 令和4年4月21日（木）～5月10日（火）  
〔参加〕 33チーム・159人



### ■花と緑のまちづくり「せせらぎ花壇」植栽事業

〔日時〕 令和4年5月29日（日）9:00～  
〔場所〕 最上中央公園「せせらぎ花壇」  
〔参加〕 参加団体21 人数100  
〔内容〕 検温など感染防止対策を講じて、開会行事を省略し、花壇への植栽を行った。



### ■ハンギングバスケット講習会

〔日時〕 5月28日（土）10:00～12:00 〔場所〕 最上中央公園「すばーていあ」  
〔内容〕 花のバスケット作製の講習会  
〔講師〕 戎野 日出男（山形市：花のひこうき）〔参加数〕 17名  
〔成果等〕 3年ぶりの開催で心待ちの参加者が多くあり、参加者から高評価を得られた。



### ■タグラグビーをやってみよう

〔日時〕 11月5日(土)と同19日(土) 9:00~11:00

〔場所〕 最上中央公園芝生・「すぼーていあ」

〔内容〕 ボール渡し等による体の動き・タグ取りゲーム

〔講師〕 新庄地区ラグビーフットボール協会

〔参加数〕 合計30名

〔成果等〕 鬼ごっこ中心の運動内容で、参加者から楽しかったとの感想であった。



### ■苔テラリウムWORKSHOP：オンライン開催

〔日時〕 11月23日(水・祝) 10:00~12:00

〔場所〕 最上中央公園芝生・「すぼーていあ」

〔内容〕 苔をガラス容器に入れこんだジオラマ作成

〔講師〕 「苔法師」オーナー・プロデューサー 居鶴雄大氏(天童市在住)

〔成果等〕 講師都合によりオンライン開催となった。老若男女様々の年齢層から合計22名の参加があり、好評を得られた。



### 中止した事業

スケートボードイベント(日程調整がつかず中止)

## 3. 他団体への協力

### ①第50回新庄雪まつり

親しまれる最上中央公園のPRを兼ね、主催者の協力団体として会場管理に携わった。

実施日 令和5年2月11日~12日 場所 最上中央公園

主催者 新庄青年会議所 入場者 約110百人(主催者発表)

### ②雪国ワンダーランド

雪を観光資源として、スノーモービルで「バナナボート」をけん引して、乗車体験を通じて冬季の公園の利活用に供した。

実施日 第50回新庄雪まつり2月11日~12日開催 場所 最上中央公園

主催者 新庄市グリーンツーリズム推進協議会 利用者3,509人

## 《2-3》新庄市都市公園管理事業

新庄市から委託を受け、次の36カ所の都市公園と緑地を適切に管理した。

最上公園 東山公園 歴史センター脇広場 八幡公園 福田緑地 中央公園  
金沢公園 末広公園 足達前公園 常葉町公園 谷地田公園 下田公園 中道公園  
千門町公園 沼田公園 中の川公園 金沢東公園 小檜室1号公園 小檜室2号公園  
横町緑地 玉の木緑地 下金沢緑地 往還東緑地 横根山工業団地緑地 新町緑地  
新田川河川公園 駅前ふれあい広場 駅東口交通広場 泉田川河川公園 西山河川広場  
仲山町緑地 清水川緑地 宮内町緑地 千門町緑地 松本緑地 前野緑地

### 委託業内容

①公園・便所掃除、パトロール、遊具点検、噴水池清掃、早朝作業：公園30カ所

②園内草刈り、法面草刈り：公園・緑地32カ所

③雪囲い設置・撤去(東屋、照明、樹木)、遊具設置・撤去：公園・緑地25カ所

④雪下ろし(便所、遊具、東屋、藤棚、駅東口アーケード)：公園24カ所

⑤害虫駆除、樹木・あじさいの剪定：公園21カ所

⑥砂場掘り起し：公園5カ所

◇要した経費 15,756千円(減価償却費含まず。委託料収入20,848千円)

## 《2-4》新庄市公有財産管理事業

1) 新庄市の委託を受け、4カ所の新庄市公有財産を適切に管理した。

仁間処理場跡地、ポリテクセンター跡地、萩野児童館跡地、福田中核工業団地未分譲地（追加受託）： 委託料収入 2, 225千円

2) 人工芝テニスコート整備業務（萩野学園・新中を年2回）他： 委託料収入 220千円

委託料収入 2, 445千円

◇要した経費 2, 104千円（減価償却費含まず。）

## 3. 法人管理事業

平成24年4月、新しい公益法人制度における一般財団法人となり9年が経過したが、令和4年度も、定款に定める「スポーツを通じた豊かな市民生活の形成に寄与する」との組織理念に即し、スポーツ振興とスポーツ施設管理を一体のものとして、役職員が一丸となって適正かつ効率的に運営した。

### ① 会議の開催

《理事会》5月26日・6月24日・11月29日・3月24日（4回）

《定時評議員会》6月24日

《評議員選定委員会》6月3日

《体育表彰選考委員会》1月6日

《スポーツ少年団本部委員会》6月書面決議・3月対面で会議開催

《強化事業費交付審査会》5月20日・6月28日

《三役会議》5月20日・6月28日・11月17日・12月27日・1月19日・3月10日（6回）

② 評議員の選任 人事異動その他により3名が辞任し、補充評議員2名を選任し、19名の評議員体制となった。

前任・齋藤民義（小体連）⇒浅井 純：前任・泉 博文（自転車）⇒今田幸広

③ 役員体制 任期満了により6月定時評議員会で理事15名、監事2名を選任（新任理事3名・新任監事1名）後、理事（副会長）1名が死亡退任し、理事14名、監事2名となった。

### ④ 新型コロナウイルス感染防止対応

3/22～4/10 教育長通知により小学生以下の施設利用停止。

4/7 市教育長通知「新型コロナウイルス感染予防を踏まえたスポーツ少年団活動について」により感染防止対策の徹底指示。

7/14 プール従業員から感染者判明し、営業開始を1週間延期し、7月23日からとした。

### ⑤ 諸規程の整備

《一部改正》

◎定款の一部変更（名称変更・令和4年7月1日施行）

その他規程21件

・定款の改正に伴う名称変更のための改正（加盟団体規程他18件）、臨時職員に関する規程、給与規程

## ⑥経理

随時、公認会計士の指導を得て適正に予算を執行し、及び財産を管理に努めた。また、施設使用料など公金取り扱い、処理手順の厳守、預金通帳・公印保管の徹底など適正管理に努めた。

## ⑦特定資産管理

- (1) スポーツ振興基金の活用を行わず、運用益 117 円を基金の設置及び管理に関する規程第 4 条に基づき繰り入れた。

法人運営基金は、取り崩しはなく、運用益 195 円と、一般正味財産増額分から 3,000 千円をこの基金に繰り入れた結果、前期末比で 3,000,195 円増額した。

スポーツ振興基金	6,849,220円	(前期末比	117円増)
法人運営基金	16,871,919円	(前期末比	3,000,195円増)

- (2) その他の特定資産

### 退職手当引当資産

職員の退職金支払に備えるため、積み立て管理している。職員の退職金の資金は、職員の退職金に関する規程第 5 条第 1 項により加入している中小企業退職金共済制度の給付額と、当該給付額で不足する額を退職手当引当資産から補てんし、規定額を給付する。

令和 4 年度は、運用益で 78 円増となる一方、定年退職職員の 1 名に退職金を支給するため 942,019 円を取崩し、期末残高は 941,941 円減少した。

退職給付引当特定資産 6,196,694円 (前期末比 ▲941,941円)

- (3) その他の固定資産

建物、構築物は、サイクルスポーツセンターの廃止による有姿除却により備忘価格(残存価格 12 円)のみの額となった。また、令和 4 年度に動力噴霧器 250 千円、パソコン 156 千円を購入し減価償却したほか、既存の車両、什器備品等を減価償却した結果、前期末残高と比較し 1,341,608 円減少した。

以上により、その他固定資産の合計価格は以下のとおり。

その他の固定資産 2,173,148円 (前期末比 1,341,608円減)



## 令和4年度 役員体制 (令和4年7月1日現在)

理事 15人 任期：令和4年6月24日～令和6年定時評議員会終結

	役職	氏名	選出元団体・役職
1	会 長	山 科 通	新庄地区バレーボール協会会長
2	副 会 長	羽 賀 千 尋	新庄地区野球連盟副会長
3	副 会 長	吉 浦 一 幸	新庄市スポーツ少年団副本部長
4	専務理事	野 崎 勉	新庄市スポーツ協会（学経）
5	理 事	森 正 一	新庄市スキー連盟副会長
6	理 事	伊 藤 好 之	新庄市柔道連盟副会長
7	理 事	安 彦 隆 一	かむてんスポーツクラブクラブマネージャー
8	理 事	井 上 勝 人	新庄地区サッカー協会事務局長
9	理 事	齋 藤 和 彦	新庄地区バドミントン協会事務局長
10	理 事	八 畷 博 幸	新庄ボクシング協会理事長
11	理 事	高 橋 研	新庄地区陸上競技協会副会長
12	理 事	竹 内 憲	新庄弓道連盟会長
13	理 事	佐々木 養 記	新庄地区卓球協会会長
14	理 事	津 藤 弘	新庄市バスケットボール協会会長
15	理 事	伊 藤 圭 一	新庄市空手道連盟常任理事

監事 2人 任期：令和4年6月24日～令和6年定時評議員会終結

1	監 事	高 橋 敏 彦	新庄地区ソフトテニス連盟副会長
2	監 事	吉 田 浩 志	新庄地区自転車競技連盟事務局長

評議員 20人 任期：令和2年定時評議員会終結時～令和6年定時評議員会終結

区分		氏名	選出元団体・役職
スポーツ協会加盟競技団体	1	矢 口 敬 治	新庄地区野球連盟副会長（理事長兼務）
	2	高 階 寿 子	新庄地区ソフトテニス連盟副会長
	3	今 田 幸 広	新庄地区自転車競技連盟監事
	4	阿 部 太 悦	新庄ボクシング協会事務局長
	5	阿 部 文 男	新庄弓道連盟副会長
	6	西 田 昭 一	新庄地区剣道連盟事務局長
	7	壹 谷 操	新庄市柔道連盟会長
	8	斎 藤 秀 二	新庄市スキー連盟会長
	9	丹 忠 一	新庄地区陸上競技協会理事長
	10	奥 山 貴 裕	新庄地区バドミントン協会理事
	11	小 森 卓	新庄地区卓球協会理事兼事務局長
	12	矢 口 一 郎	新庄地区ソフトボール協会理事
	13	田 中 幸 一	合気道新庄道場副道場長（県合気道連盟理事）
地域団体	14	武 田 徹 夫	新庄市武術太極拳協会会長
	15	大 場 和 夫	かむてんスポーツクラブ理事長
	16	森 富喜子	新庄市スポーツ推進委員協議会副会長
	17	元 木 真 澄	新庄市スポーツ少年団副本部長
学校団体	18	門 脇 潤	新庄市中学校体育連盟副会長
	19	浅 井 純	新庄市小学校体育連盟会長
学 験	20	山 科 雅 寛	新庄市健康推進担当課長

# 令和4年度決算報告書

## 《決算資料》

令和4年度決算概要

正味財産増減計算書

貸借対照表

財務諸表に対する注記

財産目録

## 令和4年度決算報告概要

### 〈概況〉

一般正味財産の経常収益は、181,985千円で令和3年度比9,289千円・5.4%の増収となり、経常費用は177,220千円で7,291千円・4.3%増加となった。この結果、一般正味財産増減は4,766千円の増加となった。

また、基本財産に増減は無く当期末残高は15,000千円となった。特定資産（基金等）は、退職金支払に退職給付引当資産から942千円の活用等を行い期末残高6,197千円となり、スポーツ振興基金は運用益117円を積み立て6,849千円となった。法人運営基金は当期一般正味財産増加額のうち3,000千円と運用益195を積み立て16,872千円とし、特定資産合計額は前期末残高より2,058千円増の29,918千円となった。

その他固定資産の増減は、1,342千円を減価償却し、期末残高2,163千円となった。

### 〈経常収益〉

受託収益事業（都市公園管理等）は受託単価の見直しにより2,376千円増の24,208千円でとなったほか、指定管理事業は新たに受託した北辰屋内運動場の管理料5,697千円の増などにより6,432千円・5.2%増の総額130,861千円でとなった。利用料金収入は、新庄市施設分は8,663千円で▲312千円、3.5%の減少となったが、県施設は3,020千円で445千円・17.3%の増収となり、利用料金総額は113千円・1.2%増の11,683千円となった。コロナ感染による影響はほとんど見られず、利用料金の減少は主に市民スキー場の営業期間の減少によるものである。また、自動販売機収入は2,080千円で▲160千円・7%減少となった。

この結果、経常収益の増減は5.4%・9,289千円の増収となった。

### 〈経常費用〉

経常費用は、7,291千円、4.3%の増となった。その主な要因は、新規に受託した北辰屋内運動場の管理経費3,212千円、電気料金引き上げによる光熱水料費2,050千円増、9.7%の増である。特に高圧（業務用）はスキー場・体育館・市民球場の3施設で2,404千円増・16.7%の増であり、昨年度に続き負担増となった。

人件費は、報酬、賃金の改定、退職金給付を行ったが、新退差・職員数の減少期間が生じたことなどにより▲746千円で総額71,381千円となった。委託費は、総額44,817千円で2,949千円増となったが、北辰屋内運動場に係る委託料2,119千円、市民球場スコアボード定期点検2,215千円増が主な経費増であり、草刈り委託費、除排雪委託費で経費減等があったが、総額で大きな経費増となった。

## ○当期末正味財産の額

資産合計 66,059 千円 ( 2,730 千円増) . . . . . ①

内訳 流動資産 18,968 千円 (運転資金・未収金・前払金・普通預金)

固定資産 47,091 千円

(基本財産 15,000 千円・特定資産 29,918 千円・その他固定資産 2,173 千円)

負債合計 13,729 千円 (▲1,964 千円) . . . . . ②

内訳 流動負債 10,328 千円 (未払金・未払消費税・預かり金等)

固定負債 3,401 千円 (退職給付引当金)

正味財産期末残高=①-②=52,330 千円 ( 4,694 千円増)

## ○一般正味財産の増減額

・ 経常収益 A	181,985,327 円
・ 経常費用 B	177,219,701 円
[当期経常増減額] A - B = C	4,765,626 円
・ 経常外収益 D	0 円
・ 経常外費用 E	0 円
[当期経常外増減額] D - E = F	0 円
・ 当期法人税・住民税・事業税 G	72,000 円
[当期一般正味財産増減額] C + F - G	4,693,626 円

## 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	300	1,100	△800
基本財産受取利息	300	1,100	△800
特定資産運用益	454	583	△129
特定資産受取利息	454	583	△129
受取会費	214,000		214,000
賛助会員受取会費	214,000		214,000
事業収益	169,076,692	160,181,477	8,895,215
自主的活動事業収益	245,100	131,800	113,300
受託事業収益	24,207,894	21,831,648	2,376,246
指定管理事業収益	130,861,000	124,429,000	6,432,000
利用料金収益	11,682,705	11,549,222	133,483
自動販売機等収益	2,079,993	2,239,807	△159,814
受取補助金等	10,900,000	10,900,000	
新庄市補助金	10,900,000	10,900,000	
受取負担金	970,100	1,001,200	△31,100
加盟団体負担金	255,000	255,000	
ｽｰｯ少年団登録料収入	715,100	746,200	△31,100
雑収益	823,781	612,320	211,461
受取利息	359	430	△71
雑収益	823,422	611,890	211,532
経常収益計	181,985,327	172,696,680	9,288,647
(2) 経常費用			
事業費	170,456,474	164,145,454	6,311,020
役員報酬	2,046,000	1,872,000	174,000
給料手当	29,240,382	30,174,727	△934,345
従業員賞与	9,415,300	9,315,200	100,100
臨時雇賃金	16,576,492	16,647,205	△70,713
退職給付費用	708,000	1,434,137	△726,137
法定福利費	6,831,214	6,998,327	△167,113
福利厚生費	1,779,880	1,456,089	323,791
旅費交通費	92,000	80,120	11,880
通信運搬費	1,004,395	865,214	139,181
減価償却費	1,341,608	1,567,647	△226,039
消耗品費	6,300,169	5,967,673	332,496
修繕維持費	5,135,619	3,919,179	1,216,440
印刷製本費	684,178	492,844	191,334
燃料費	5,031,219	5,319,366	△288,147
光熱水料費	23,195,955	21,146,335	2,049,620
賃借料	3,127,474	2,762,759	364,715
保険料	1,650,970	1,664,900	△13,930
諸謝金	323,000	70,000	253,000
租税公課	7,587,700	7,370,646	217,054
支払負担金	1,819,150	1,923,308	△104,158
報償費	238,090	188,132	49,958
支払助成金	1,584,582	1,069,576	515,006
委託費	44,289,166	41,340,336	2,948,830
支払手数料	340,245	392,380	△52,135
雑費	113,686	107,354	6,332
管理費	6,763,227	5,782,827	980,400
役員報酬	270,000	240,000	30,000

## 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
給料手当	2,664,310	2,478,993	185,317
従業員賞与	918,000	776,000	142,000
退職給付費用	258,490	144,000	114,490
法定福利費	568,314	540,855	27,459
福利厚生費	104,988	49,808	55,180
旅費交通費	290,369	265,365	25,004
通信運搬費	103,881	65,045	38,836
消耗品費	284,887	118,934	165,953
修繕維持費	306,317	150,183	156,134
印刷製本費	47,300	31,680	15,620
賃借料	10,490	8,000	2,490
保険料	109,460	89,774	19,686
租税公課	110,002	51,077	58,925
支払負担金	21,000	5,000	16,000
支払手数料	147,419	186,113	△38,694
委託費	528,000	528,000	
雑費	20,000	54,000	△34,000
経常費用計	177,219,701	169,928,281	7,291,420
当期経常増減額	4,765,626	2,768,399	1,997,227
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	4,765,626	2,768,399	1,997,227
法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	
当期一般正味財産増減額	4,693,626	2,696,399	1,997,227
一般正味財産期首残高	28,736,587	26,040,188	2,696,399
一般正味財産期末残高	33,430,213	28,736,587	4,693,626
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	18,900,000	18,900,000	
指定正味財産期末残高	18,900,000	18,900,000	
III 正味財産期末残高	52,330,213	47,636,587	4,693,626

## 貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	18,198,143	16,238,616	1,959,527
未収金	699,997	646,499	53,498
前払金	70,044	70,044	
流動資産合計	18,968,184	16,955,159	2,013,025
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	15,000,000	15,000,000	
基本財産合計	15,000,000	15,000,000	
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	6,196,694	7,138,635	△941,941
スポーツ振興基金	6,849,220	6,849,103	117
法人運営基金	16,871,919	13,871,724	3,000,195
特定資産合計	29,917,833	27,859,462	2,058,371
(3) その他固定資産			
建物	3	3	
構築物	9	9	
車両運搬具	895,087	1,778,431	△883,344
什器備品	1,268,049	1,726,313	△458,264
投資有価証券	10,000	10,000	
その他固定資産合計	2,173,148	3,514,756	△1,341,608
固定資産合計	47,090,981	46,374,218	716,763
資産の部合計	66,059,165	63,329,377	2,729,788
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	6,577,577	7,894,024	△1,316,447
未払法人税等	72,000	72,000	
未払消費税等	2,088,800	1,907,300	181,500
前受金	31,090	53,350	△22,260
預り金	1,558,112	1,537,214	20,898
流動負債合計	10,327,579	11,463,888	△1,136,309
2 固定負債			
退職給付引当金	3,401,373	4,228,902	△827,529
固定負債合計	3,401,373	4,228,902	△827,529
負債の部合計	13,728,952	15,692,790	△1,963,838
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	3,900,000	3,900,000	
寄付金	15,000,000	15,000,000	
指定正味財産合計	18,900,000	18,900,000	
(うち基本財産への充当額)	( 15,000,000)	( 15,000,000)	( )
(うち特定資産への充当額)	( 3,900,000)	( 3,900,000)	( )
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	( 22,616,460)	( 19,730,560)	( 2,885,900)
正味財産の部合計	52,330,213	47,636,587	4,693,626
負債及び正味財産合計	66,059,165	63,329,377	2,729,788

財務諸表に対する注記

注 単位はすべて円である。

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物	定額法
構築物・什器備品	定率法 ただし平成28年4月1日以後取得の構築物は定額法

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金	従業員に対する退職給付に備えるため、規程に基づく期末要支給額(中退共併用)を計上している。
---------	---

(3) 消費税等の会計処理

税込処理

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	15,000,000			15,000,000
小 計	15,000,000	0	0	15,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	7,138,635	78	942,019	6,196,694
スポーツ振興基金	6,849,103	117		6,849,220
法人運営基金	13,871,724	3,000,195		16,871,919
小 計	27,859,462	3,000,390	942,019	29,917,833
合 計	42,859,462	3,000,390	942,019	44,917,833

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	15,000,000	( 15,000,000)	( 0)	—
小 計	15,000,000	( 15,000,000)	( 0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	6,196,694		( 2,795,321)	( 3,401,373)
スポーツ振興基金	6,849,220	( 2,600,000)	( 4,249,220)	
法人運営基金	16,871,919	( 1,300,000)	( 15,571,919)	
小 計	29,917,833	( 3,900,000)	( 22,616,460)	( 3,401,373)
合 計	44,917,833	( 18,900,000)	( 22,616,460)	( 3,401,373)



4. 固定資産の取得原価、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得原価、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減損累計額	減価償却 累計額	当期末残高
その他の固定資産				
建物	51,366,710	7,154,491	44,212,216	3
構築物	353,710,820	7,554,265	346,156,546	9
車両運搬具	5,451,024	0	4,555,937	895,087
什器備品	6,887,708	0	5,619,659	1,268,049
合 計	417,416,262	14,708,756	400,544,358	2,163,148

5. 実施事業資産

(単位：円)

科 目	当期末残高			合 計
	スポーツの普及、 振興、指導者の育 成と選手育成に関 する事業	スポーツ行事の開 催、表彰及び各団 体組織の強化と補 助活動	スポーツ施設の管 理運営に関する事 業	
建物	0	0	3	3
構築物	0	0	9	9
什器備品	32,648	0	0	32,648
合 計	32,648	0	12	32,660

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
運営補助金	新庄市	0	10,900,000	10,900,000	0	一般正味財産
指定運営補助金	新庄市	3,900,000	0	0	3,900,000	指定正味財産

附属明細表

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,228,902	114,490	942,019		3,401,373

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

[単位:円]

貸借対照表科目	場所・物量等	摘 要	金額
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金		運転資金として	111,460
普通預金	新庄信用金庫／本店	同上	18,086,683
未収金	佐藤総業(株)ほか	自販機借上料、電気料未収ほか	699,997
前払金	(公財)スポーツ安全協会	法人責任保険 令和5年度分ほか	70,044
流動資産合計			18,968,184
2. 固定資産			
基本財産			
定期預金	新庄信用金庫／本店	スポーツ振興事業に充てるため保有している	15,000,000
特定資産			
退職給付引当資産	新庄信用金庫／本店	従業員に対する退職給付に備えるため保有している	6,196,694
スポーツ振興基金	新庄信用金庫／本店	スポーツ振興事業に充てるため保有している	6,849,220
法人運営基金	新庄信用金庫／本店	財団の運営に充てるために保有している	16,871,919
その他の固定資産			
建物	管理棟ほか	サイクルスポーツセンター	3
構築物	競輪場走路補修代ほか	同上	9
車両運搬具	2トントラック	都市公園管理事業用ほか	895,087
什器備品	乗用草刈機、除雪機ほか	スポーツ振興及び指定管理事業に使用	1,268,049
投資有価証券	新庄信用金庫出資金		10,000
固定資産合計			47,090,981
資産合計			66,059,165
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	東北電力株式会社	電気料3月分	1,868,852
	日本年金機構	社会保険料 3月分	1,345,652
	従業員	退職金、3月給与日割り分及び時間外手当	1,046,796
	シルバー人材センターほか	業務委託料、燃料代など	2,316,277
未払法人税等	山形県、新庄市	県税、市民税	72,000
未払消費税等	新庄税務署	消費税等	2,088,800
前受金	施設利用者	利用料の翌年度対応分	31,090
預り金	職員	社会保険料 3月分	1,342,126
		源泉所得税	98,686
		住民税ほか	117,300
流動負債合計			10,327,579
2. 固定負債			
退職給付引当金		従業員の退職支出に備えるための引当金	3,401,373
固定負債合計			3,401,373
負債合計			13,728,952
正味財産			52,330,213